

今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

- 大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

24時間対応させていただきます

TOPICS

植込み型ループレコーダー(ILR) を用いた検査を行っています

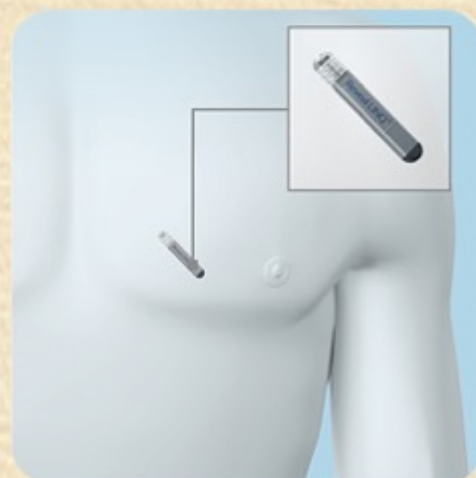
ILRは、原因不明の失神に対して、失神の原因が心臓由来かどうかを診断するために用いられます。

通常の心電図や24時間ホルター心電図では記録時間が限られており、稀にしか生じない不整脈発作を記録することは困難ですが、ILRは胸部皮下に挿入し、**最長3年間**持続的な心電図モニタリングが可能で、確定診断後は取り出すことができます。

本体は非常に小さく、局所麻酔下に小切開で挿入することができます。傷もほとんど目立たず、患者さんの負担も少なく短期間の入院で検査が可能です。

当科では、2013年よりこれまでに18例に植込んでおり、下記のように失神の原因が判明した症例もあります。

最近では、失神だけではなく原因不明の脳梗塞(**潜在性脳梗塞**)に対しても適応が拡大され、自覚症状のない発作性心房細動の検出にも有効とされています。



症例:70代男性

繰り返す意識消失発作に対して植込み型ループレコーダー(ILR)を挿入。外来フォロー中に発作があり、約10秒の房室ブロックが記録された。



後記

the editor's notes

平素より、ホットラインを含め皆様から多数のご紹介をいただき、誠にありがとうございます。今年の4月～9月までにホットラインにて78例の患者さんをご紹介いただきました。これから寒くなり入院が必要となる症例の増加が予想されます。引き続き地域の皆様のお役にたてるよう、当科スタッフ一同尽力して患者さんの受け入れ体制の維持に努めて参りますので、ご意見・ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

藤田 修一

